

保護者各位

ICM 国際メディカル専門学校・学校通信

日頃より本学の専門教育にご理解をいただき誠にありがとうございます。国際メディカル専門学校では、医療・福祉の現場で即戦力として活躍できる人間力育成を目標とし、下記の教育方針に基づき様々な角度から教育を行っています。年間の主だった活動状況を、保護者様とも情報共有させていただきたく、本通信にて平成28年度の活動の様子についてご報告させていただきます。今後とも就学生活の様々な面において保護者様からのご理解ご協力をお願い申し上げます。

《人間力育成のための学校教育方針》

実践行動学	自らの夢を描き、実現のための目標を明確にすることで、モチベーションを向上・維持し、また諦めず継続的に学習し目標達成に向け前向きに行動することができる。
礼儀・礼節	あいさつは人間関係の最も重要なコミュニケーションであり、笑顔で元気にあいさつを交わすことができ、状況に応じた正しい言葉遣いや行動ができる。これらの言動を通して感謝の心を持つことができる。
清潔	自らの身だしなみを整え、校舎内・外の環境をきれいに保つことで、自らの心を磨くことができる。
地域貢献	地域行事への参加を通して地域に関心愛着を持ち、地域社会の一員であることを自覚することができる。
国際理解	海外研修や留学生との交流を通して、異文化を受け入れ、素直で他を尊重する精神を持つことができる。
奉仕	ボランティア活動を通して、他人を思いやる謙虚な気持ち、公共のために尽くす心を持ち、人と人とのつながりを実感することができる。
集団行動	集団の中で他者と協調し、達成すべき目標や行うべき行動の実現を通して、リーダーシップを学び自ら果たすべき責任や役割の重要性を身に付けることができる。

【チームビルディング研修】

下記写真は、毎年入学後間もない新入生を対象に実施している「チームビルディング研修」の様子です。妙高市にある「NSG 妙高園」を宿泊先として、豊かな自然や現地施設を利用しながら合宿形式で進行する研修です。一人では解決できない様々な課題に対し、グループの中で知恵を絞り、協力して解決していくプログラムが多数用意されています。新入生たちは自然の中でのびのびと楽しみながら、チームワークの大切さについて学んでいきます。ICMすべての学科生にとって、「チーム医療」の考え方が大変重要となります。コミュニケーション能力や人との接し方などを学校生活の様々な行事や体験を通して学び、チームの一員としての役割意識をもって、目標達成に向けて意欲的な学校生活を送ってくれることを期待しています。



【海外研修／留学生交流会】

「国際理解」の教育方針に基づき、異文化に触れ、国際情勢の中での日本について理解を深めてもらうことを目的に、海外研修への参加を推進しております。2年生の研修コースには海外コースをご案内させていただき、今年も2コース（グアム、シンガポール）にて実施しました。いずれのコースも現地で学ぶ同年代の学生との交流機会を持ち、また、医療機関視察を含めた研修を行っています。参加学生たちは、国際化時代における英語力の必要性や、言語や文化の異なる対象とのコミュニケーションの難しさについて肌で感じたことと思います。現地学生たちとも身振り手振りを交えながら、一生懸命会話を試みる様子が伺えました。また、医療機関視察でも、日本との違いや共通部分を発見し、将来に向けての意欲と刺激につながったことと思います。

また、日本にいながらに様々な国の人、文化に触れる機会として留学生交流会を年2回、ICM学内にて実施しています。日本語を学びに来ているグループ姉妹校の留学生とICM学生が、それぞれの学校で学んでいることを発表し合ったり、文化の違いについて情報交換を図っています。冬の部では、学生同士協力してクリスマスケーキを作り、それを囲んでのパーティー形式で楽しくコミュニケーションを図っていました。

医療の世界も国際化の流れは確実に訪れます。若いうちから国際化を見据え、身近なところから異なる言語や文化に積極的に触れてほしいと願います。



【明和義人祭／にいがた総おどり】

地域貢献、集団行動の観点から、毎年新潟市内で行われている各種お祭り行事にも参加しています。活動を通して、地域への愛着と貢献意識を持ってほしいという願いもあり、行事への参加を推進しています。

「明和義人祭」は、市内古町商店街の活性のためにカレッジリーグ全体で盛り上げる夏祭り行事です。江戸時代の風景を再現するかのように参加学生たちは浴衣をまとい、最後の盆踊り行列「あまの手振り」では、各校オリジナリティ溢れる振り付けで踊りを披露しました。ICM学生・教員も元気に掛け声をかけながら楽し気に踊っていました。

「にいがた総踊り」はオールジャンルの踊りが新潟市に集う日本最大級のダンスフェスティバルで、学校としては今年で参加5年目になります。参加意思のある学生を募り、その中からリーダーを選出し、学生中心に

練習を重ねて本番に臨みます。また、“交流の輪”を広げる取り組みとして、グループ校の新潟国際自動車大学校とのコラボチームにて毎年参加しています。今年は両校合せて総勢約50名で、万代や古町といった新潟市内中心街にて大勢のお客さんの前で学生らしく堂々と元気いっぱいの踊りを披露しました。お客さんからもたくさんの声援や拍手をもらい、踊り終えた学生たちの表情も満足感に満ちたものでした。

今後、若い世代の精力的な関わりが地域活性の大きな柱となっていきます。ICM学生を含むカレッジリーグ生は、まさに近い将来、様々な方面で地域の中心的役割を果たす人材です。主体的な意識、集団の中での協調性、リーダーシップなど机上では学べない体験を学生のうちにたくさん積んでいただければと思います。



【NSG夏フェス（大学園祭）】

7月10、11日に初開催となる「NSG夏フェス（大学園祭）」が行われました。会場：朱鷺メッセの大型ホールに、新潟県内の全NSGカレッジリーグ校が模擬店ブースや学校紹介ブースを設置し、ステージイベントには有名芸人やアーティストが参加、各校工夫を凝らした催しを展開しました。全体では2日間参加動員約4万人のイベントとなりました。ICMからは各科ごとに飲食またはアトラクションブースを出店し、学年を超えて協力してお客さんの対応をしました。また、各校が主催する様々なアトラクションイベントの中で、ICM学生たちの素晴らしい活躍も目立ちました（3×3バスケット大会男子の部優勝、女子の部準優勝。アームレスリング大会準優勝、など）。

大学園祭は今後も7月同時期開催の予定です。近くなりましたらご案内させていただきますが、保護者の皆様も是非会場に足をお運びいただき、学生たちと共に楽しんでいただけたらと思います。



【NSGカレッジリーグ大運動会】

10月3日、昨年に引き続き第2回となる『NSGカレッジリーグ大運動会（会場：デンカビッグスワン）』が開催されました。今年は新潟市、長岡市のカレッジリーグ校生総勢約5,000人規模での運動会となりました。8チームのグループに分け、チーム対抗戦で団体競技や個人競技に挑む形式で行われました（ICMは他2校との合同オレンジチームで参加）。大玉送りや綱引きなど団体競技では学科や学校の枠を越えて団結して競技に臨み、100m走など個人競技にも“オレンジコール”で選手を応援、盛り上げる様子が伺えました。



「学園祭」や「大運動会」は、普段はそれぞれの学校や学科で学ぶカレッジリーグ生の交流機会を増やし、NSGカレッジリーグのスケールメリットを生かした“学生交流の輪”を様々な形で実現するための一環です。今後も交流をテーマとして様々なイベント企画が検討実施されていきます。何卒、ご理解ご協力のほどお願い致します。

【国家試験・目標検定に向けて】

年が明け、各学科が目指す国家試験、目標検定が迫って参りました。1月現在、3年間の学びの集大成として、受験生たちは試験に向けて努力を重ねています。学校全体では「全科全員合格」の共通認識とこだわりをもって、学生指導と雰囲気作りに力を注いでおります。学科単位でも様々な工夫を凝らしながら、本番に向けた動機づけと成果向上に努めております。保護者様からも励ましの言葉をかけてくださいますと幸いです。

- 診療情報管理士認定試験（試験日：2月12日 会場：新潟 / 発表：3月23日 本人宛投函）
- 看護師国家試験（試験日：2月19日 会場：東京 / 発表：3月27日 厚労省 HP）
- はり師きゆう師国家試験（試験日：2月26日 会場：新潟 / 発表：3月28日 厚労省 HP）
- 臨床工学技士国家試験（試験日：3月5日 会場：東京 / 発表：3月28日 厚労省 HP）

本通信は、学校全体の取り組みに関する報告となっています。学科または学生個人に関する報告や相談に関しては、それぞれ学科担当、クラス担任を通じてご確認下さい。なお、学校ホームページブログ、Facebook 専用ページ、YouTube 専用チャンネルなどでも、イベントや活動の様子を随時配信しております。

それぞれのチャンネルには下記学校ホームページから入れますので是非ご覧下さい。

学校ホームページ URL <http://www.icm-net.jp>

学校通信記事編集担当：教務部 佐藤秀幸

